

オランダ・ベルギーの

子どもの本から学ぶ 子育て・生き方

2018年2月10日(土) 13:00~15:30

会場:東京都人権プラザ本館
1階 セミナールーム



講座 講師

のざか えつこ
野坂悦子さん

(児童文学翻訳家
・作家)

- 前半** 13:00~13:30 読み聞かせ・紙芝居上演
対象:小学生以上の子ども(大人参加可)
- 後半** 14:00~15:30 講座(お話)
対象:大人

申し込み方法

- 定員各回 40名 申込多数の場合は抽選 参加費無料
- 申込受付は12月11日(月)から。電話またはホームページで。
- 手話通訳・託児が必要な方は、申込み時にお知らせください。



ボクレイク野外博物館(ベルギー)



①



②



③



④



⑤

お申し込み・お問い合わせ

東京都 **人権プラザ**

〒105-0014

東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル

電話:03-6722-0123

ホームページ:<http://www.tokyo-hrp.jp/>

主催:東京都人権プラザ 指定管理者:(公財)東京都人権啓発センター

- ①『シラユキさんとあみあみモンスター』アンネマリー・ファン・ハーリンゲン 作/野坂悦子 訳、BL出版
- ②『あかいほった』ヤン・デ・キンデル 作/野坂悦子 訳、光村教育図書
- ③『ようこそおひつりへ』野坂悦子 作/牡丹靖佳 画、玉川大学出版部
- ④『ちいさなへいたい』パウル・ヴァルレプト 作/野坂悦子 訳、朝北社
- ⑤『やさしいまものパッパ』野坂悦子 脚本/降矢奈々 絵、童心社

オランダ・ベルギーの絵本のこと、など…

オランダは、レンブラント、フェルメール、ゴッホ、モンドリアンなど数々の画家を生んだことで知られています。絵本の分野でも、ミッフィー(うさこちゃん)の作者として親しまれるディック・ブルーナ、「かえるくん」シリーズのマックス・ベルジュイスなど、日本でもなじみの深い作家を輩出しています。隣国のベルギーも独特の絵本文化が開花しました。オランダとベルギーは、神聖ローマ帝国の支配下にあった時代は、「ネーデルランド連合王国」と呼ばれる一つの地域でしたが、その後、オランダは17世紀に、ベルギーは19世紀に独立しました。オランダとベルギーは、地理的、言語的にも親近性が高く、日本との交流も長い歴史があります。またオランダは、外国人の参政権や同性結婚を認めており、差別をなくす取り組みをしています。このイベントでは、オランダ語などの翻訳家として、多くの本を翻訳出版されている講師による、オランダとベルギーの絵本・児童書の魅力や海外生活などについてのトークと、絵本・紙芝居を楽しみながら、多文化共生、子ども・子育てなどについて考えます。

【講師プロフィール】

野坂悦子 (のざか えつこ) さん 児童文学翻訳家、作家

早稲田大学第一文学部英文学科卒業。1985年から5年間、オランダなどでの滞在を機に、本格的に翻訳家としての活動を始める。オランダ語、英語、フランス語の児童文学の翻訳家として、100冊以上の絵本・児童書を手がける。訳書に『第八森の子どもたち』(福音館書店)、『フランダースの犬』(岩波書店)、『おじいちゃんわすれないよ』(金の星社、第50回産経児童出版文化賞大賞受賞)など。2001年、紙芝居の文化の会創立に加わり、15年にわたり紙芝居を世界に紹介している。紙芝居、絵本の創作も手がけ、作品に『やさしいまものバツパー』(童心社)、『ロロとレレのほしのはな』(小学館)などがある。紙芝居文化の会海外統括委員、日本国際児童図書評議会(JBBY)、日本ペンクラブ、日本文藝家協会会員。



吉村紀子 (よしむら のりこ) さん、平野順子 (ひらの じゅんこ) さん

●読み聞かせボランティアグループ「きしゃぼつぽ」

1999年、港区の生涯学習講座を受講後、有志たちで自主的な活動グループを立ち上げ、今年で設立19年目となる。絵本の読み聞かせを中心に、港区内の図書館、児童館など各所で、子どもの読書推進に関わる活動を続けている。



- 都営三田線「芝公園駅」A1出口 から徒歩3分
※車いす、ベビーカー等ご使用の方は、A3出口エレベーターをご利用ください。
- 都営浅草線・都営大江戸線「大門駅」A3出口から徒歩7分
- JR・東京モノレール「浜松町駅」金杉橋口から徒歩8分

写真(大):アムステルダム・ヨルダーン地区の街並(オランダ)
写真(小):ポクレイク野外博物館(ベルギー)